

淑徳魂を燃やして、 人の笑顔につながらる 建築をつくり続ける。

充実した6年間の先で 自分の道を拓く。

私の人生の礎は、愛知淑徳中高での日々です。勉強や部活、学校行事など何事も全力で頑張った、青春を謳歌した6年間でした。最も思い出深いのは学園祭です。高3のとき、後夜祭の実行委員長を務めました。テーマ決め、ステージ企画、火舞い、校内装飾など業務が多岐にわたるため、委員全員の協力的体制が不可欠です。一人ひとりと対話を重ね、それぞれの得意分野を見つけて、みんなが楽しく力を発揮できる役割分担を重視しました。こうした経験を通してリーダーシップが鍛えられ、さらに、自分で考えて決めたことを最後までやり抜く、淑徳魂も磨くことができたと思います。学園祭を共に作った生徒会・実長メンバーは今も大切な友人で私の心の支えになっています。

また、授業で好きだったのは、地理や美術などです。先生方がいろんな話をされる、教科書の内容にとどまらない濃厚な授業ばかり。毎時間楽しみでした。視野が広がった私は、特に建築に興味を持つようになり、高校卒業後は名古屋市立大学芸術工学部へ。建築設計の学修に力を注ぎました。

卒業制作はJ・A東海学生卒業設計コンクールで金賞を受賞し、専門性を深める決意を固めて大学院に進学。建築の道へと歩みを進めていきました。

“人”を軸にして、 よりよい建築を形にする。

鹿島建設株式会社に入社して15年目の今、これまでのキャリアを振り返ると、商業施設や集合住宅など、人の暮らしに近い建築のプロジェクトに数多く取り組んできました。現在は私立高校の設計を担当し、

学園生活の楽しかった日々を思いながら新たな学びの場を作っています。設計者として心掛けているのは、使う人の気持ちになること。居心地のよい場所、思い出になる場所をつくる責任感とともに、その空間を活かして楽しんでもらえるという喜びも感じています。一つひとつの設計に励んできました。

仕事では、基本計画から実施設計、内外装デザイン、外構計画、施工監理、竣工まで、多くの工程に携わります。お客様をはじめ行政・地域の方々や現場スタッフ・各専門業者など多様な人とコミュニケーション・調整を重ねて、皆さんの思いに込める建物を形にしています。そのとき、底力になっているのが、愛知淑徳で養ったチームワークの力。今後も淑徳魂を燃やして、自分の道を拓いていきたいと思えます。愛知淑徳で学ぶ生徒・学生の皆さんも、毎日の学びや活動を通して自己を鍛え、自分で未来を掴み取る力を培ってください。



高校3年間は吹奏楽部に所属。コンクールに向けて淑友館で合宿し、みんなの心を一つにして音楽をつくり上げたことも大切な思い出です。



建築設計の仕事では、まずお客様のニーズや思いを引き出すことが重要。打ち合わせを綿密に行い、多角的な視点でプランニングしていきます。

鹿島建設株式会社
建築設計本部 建築設計統括グループ
チーフアーキテクト／一級建築士

橘 佑季さん(旧姓:筒井)

愛知淑徳高等学校を2001年3月に卒業。名古屋市立大学芸術工学部を卒業後、東京工業大学大学院総合理工学研究所を修了し、2007年4月に鹿島建設株式会社に入社。建築設計本部に所属し、全国各地の商業施設や教育施設などの設計に携わる。5歳双子男の子の母。